

第3回 尼崎西宮芦屋港 港湾計画検討会 議事要旨

- 1 開催日時 令和3年3月19日(金) 10:30~11:30
- 2 開催場所 ラッセホール 地下1階リリー
- 3 出席者

区分	所属・役職	委員名	備考
学識経験者 (6名)	神戸大学大学院准教授	石黒 彦	
	流通科学大学教授	今西 珠美	WEB出席
	神戸大学准教授	鍛田 泰子	
	神戸大学大学院教授	竹林 幹雄	
	大阪産業大学教授	田中 みさ子	欠席
	(一財)みなと総合研究財団理事長	山縣 宣彦	
港湾・海事関係者 (5名)	尼崎西宮港運協会会長	松本 泰則	
	ひょうご埠頭株代表取締役専務	北本 淳	
	尼崎商工会議所会頭	吉田 修	代理：芝 俊一
	西宮商工会議所会頭	辰馬 章大	欠席
	芦屋市商工会会長	永瀬 隆一	
市 (3名)	尼崎市 副市長	森山 敏夫	WEB出席 代理：久保田 隆弘
	西宮市 副市長	北田 正広	WEB出席
	芦屋市 副市長	佐藤 徳治	代理：辻 正彦
行政 (5名)	近畿地方整備局港湾空港部長	魚谷 憲	WEB出席
	西宮海上保安署長	櫻原 毅	
	神戸運輸監理部海事振興部長	中村 昭敏	WEB出席
	兵庫県県土整備部長	服部 洋平	
	阪神南県民センター長	正垣 修志	
オブザーバー	国土交通省港湾局計画課港湾計画審査官	平井 洋次	WEB出席

4 議事

- 1) 長期構想(案)のとりまとめについて
- 2) 尼崎西宮芦屋港の港湾計画の方向性(案)
- 3) 港湾計画検討会の進め方

5 質疑応答

○長期構想（案）の図のレイアウトについて

質問内容【質問者】	回答
<p>長期構想（案）の多くの図に黒の外枠があるが、ない方が見やすいのでは。</p> <p style="text-align: right;">【楯田委員】</p>	<p>本検討会のご意見を踏まえ、県でも誤植や文章がおかしいところなど確認のうえ、修正を行い、竹林会長にご確認いただき、内容に問題がなければ確定版を公表する。</p>

○（案）を取るタイミングについて

質問内容【質問者】	回答
<p>長期構想（案）の「(案)」はいつとるのか。</p> <p style="text-align: right;">【山縣委員】</p>	<p>確定版は年度内の公表を目処としている。本検討会で取りまとめて頂いた内容で、県内部の意思決定を得て確定版とし、(案)を取る予定である。</p>

○モーダルシフト対象貨物の推計内容について

質問内容【質問者】	回答
<p>資料4のp4で、モーダルシフト対象貨物の推計の記載があるが、推計における対象貨物の発着地は県内、広域（近畿圏）、どちらとしているか。</p> <p>後者の場合、県内の貨物は少ないが他県の貨物が多いといった、他県のための計画と位置付けられるような状況が懸念され、近隣への説明が必要となる。</p> <p style="text-align: right;">【石黒委員】</p>	<p>物流センサスより尼崎西宮芦屋港の背後圏を対象にマクロ推計を行っている。具体的な推計貨物量は、すぐに回答できないため、後日ご説明させていただきたい。</p> <p>背後圏を設定しているため、他府県のための計画にはならないと考えるが、当港としては神戸港と大阪港の連携を図るため、広域圏を対象とした推計も重要な視点と考えている。</p>

○カーボンニュートラルについて

質問内容【質問者】	回答
<p>カーボンニュートラルというキーワードが重要性を増しており、具体化を図るタイミングである。今回の長期構想では、その視点は殆ど盛り込まれていないが、来年度に港湾計画を改訂する頃には何らかの記載が必要となることが想定される。</p> <p>上記の具体化に伴い来年度に長期構想を改訂することは可能か、あるいは時世の変化に応じ柔軟に港湾計画に盛り込めるか。</p> <p style="text-align: right;">【石黒委員】</p>	<p>国がカーボンニュートラルレポートを検討していることは承知している。</p> <p>現時点では、港湾計画に盛り込む要素がなく、国の指針より港湾管理者が可能な取り組みを考える必要がある。来年度、国土交通省と密に相談し、進め方を詰めたいと考える。</p>
<p>短期的には荷役機械の電動化、長期的には水素やアンモニアへのエネルギー転換が想定される。尼崎の背後には水素を扱っている企業もいるので検討が必要になるだろう。</p> <p style="text-align: right;">【竹林会長】</p>	

○RORO ターミナルについて

質問内容【質問者】	回答
<p>今回計画で RORO 船の必要性が示された中で、改訂後の整備期間を考えると RORO 船ターミナル完成はかなり先となる。</p> <p>まず既存岸壁で RORO 船を受け入れ、後に完成したターミナルに移行するといった、段階的な計画はできないか。</p> <p style="text-align: right;">【山縣委員】</p>	<p>必要水深、既存バースの空き状況の 2 点が課題となる。今回のご指摘を踏まえ、空いているバースの活用を検討したい。</p>

○バースの利用状況と整備完了時期について

質問内容【質問者】	回答
<p>バース数はあるが、水深の問題で使いづらいバースがある。利用者目線では、実は大きな船を使用できるバースは少ない。近年パブリックバースが 2 バース拡張されたが、自動車専用船がほぼ毎日使用しているのが実態である。</p> <p>また、企業目線では、港湾計画の 10 数年のスパンは長く、いつバースが整備されるのか分からないため諸計画が立てづらい。</p> <p>新たなバースの早期整備を望む。</p> <p style="text-align: right;">【松本委員】</p> <p>モーダルシフトが猛烈に進んでおり、早期整備や場所だけ提供する等、対応を検討する必要がある。</p> <p style="text-align: right;">【竹林会長】</p>	<p>港運協会や尼崎市等と意見交換して、現時点で取り組めることがあるのか検討し、柔軟に計画を検討していきたい。</p>

○防災における情報インフラの活用について

質問内容【質問者】	回答
<p>本計画には防災機能としてハード整備（岸壁の耐震化）、災害廃棄物の観点が計画に盛り込まれている。</p> <p>昨今の i コンストラクションの推進を踏まえ、防災分野では、情報インフラの活用が進んでいる。</p> <p>港湾施設は広範なため地震直後にドローン等の活用により、情報を早く取得し、早期の警報発信や復旧計画を行うシステムを構築できないか。</p> <p style="text-align: right;">【欽田委員】</p>	<p>港湾 BCP（港湾の事業継続計画）は策定し、事前の体制確立等には取り組んでいるが。災害後の情報提供については、ドローンを活用するといった具体案は現時点ではない。</p> <p>情報提供の在り方について検討していきたい。</p>

○水域の環境改善について

質問内容【質問者】	回答
<p>環境改善について、西宮沖防波堤の内側について浅場・磯浜等の環境改善に資する施策を港湾計画に盛り込むことはできないか。</p> <p style="text-align: right;">【山縣委員】</p>	<p>西宮沖防波堤は直轄事業で整備しており、環境改善については国の方でも取り組まれた事例がある。</p> <p>国と協議をし、港湾計画に位置付けられる取り組みがあるか検討したい。</p>

○名神湾岸連絡線整備による物流需要の増加に伴う影響について

質問内容【質問者】	回答
<p>資料 3-2p20 の名神湾岸連絡線整備による広域ネットワーク形成について、名神湾岸連絡線の整備により内陸との連携が高まり物流需要は高まると考えられるが、影響について具体的に今後どうするのかを地元市と協力して検討を進めてほしい。</p> <p style="text-align: right;">【森山委員（代理:久保田）WEB】</p>	<p>これからヒアリング等を行い、物流需要の増加により、今の港湾機能で足りるのか、他の岸壁が必要なのか等、来年度見極めていく。</p> <p>社会経済情勢の変化等をみてフレキシブルに検討していく予定である。</p>

○東西連絡道路の整備について

質問内容【質問者】	回答
<p>先日、東高州橋で通行止めが発生した。迂回ルートが通行できない場合、アクセスが分断される地区があることが分かったので、有事の際、今回計画の東西連絡線の整備は効果的であると思われる。</p> <p>今後具体的な検討を進めてほしい。</p> <p style="text-align: right;">【森山委員（代理:久保田）WEB】</p>	<p>物流リダンダンシーの観点でも東西連絡道路は重要であるとする。</p> <p>港湾計画の改訂では、東西連絡線の整備を位置付けたいと考えている。</p>

○事業化後の立ち退きと土地利用について

質問内容【質問者】	回答
<p>名神湾岸連絡線の計画が事業化すると、具体的話として西宮浜の敷地内で企業の立ち退きが生じる。今後土地利用の関係で様々な協議をさせていただき、事業が円滑に進むようご協力をお願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">【北田委員 WEB】</p>	<p>名神湾岸連絡線に関しては、新規事業採択手続き中で、事業採択候補の一つに挙げた段階と聞いている。今後の事業の進捗に合わせて検討していきたい。</p>

○にぎわい創出と連携について

質問内容【質問者】	回答
<p>長期計画の中で、西宮市の自然海浜の利活用、にぎわい創出を位置付けて頂きありがたい。</p> <p>市民の活動が非常に盛んな地域で、自主的に清掃ボランティアに参加してくださる方が多い。市としては、引き続き市民と協力していくので、サポートをお願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">【北田委員 WEB】</p>	<p>地元市、民間との協力、連携が必要になるため、今後ともよろしく願います。</p>